

「広報まさき」、3000回記念おめでとう
ございます。昭和39年から37年もの長期間、松
前町の発展とともに情報を伝えてきた関係者の
ご努力に感銘します。

広報は紙面も大きく、写真も多く取り入れら
れ、字の大きさ、配色なども良く、とても読み
やすいものになっています。また、町内の動き
などもよくわかり、情報内容も豊富です。

今後、合併問題や公共下水道、福祉など町民
に密着した知りたい情報などに注目していきた
いと思っています。

また、町内に情報、知識の豊富な方も大勢お
られますので、「自由投稿欄」を作っても面白
いのではないかと思います。一考ください。



小糸和夫さん
(筒井)



横山由井子さん
(南黒田)

「広報まさき」は、
昭和39年に1号を出し
てから、今年の11月で30
0号を迎えるそうです。3000号
記念、誠におめでとうござい
ます。
私は、今年1年広報モニターとして、広報のお世話をさせ
ていただいております。今までを振り返り、また、広報を読
むにつけ考えさせられるのは、高齢者の福祉活動についてです。
年々、高齢者が増えている昨今、元氣な高齢者を対象の文化
活動、旅行、スポーツ、営農指導などのシリーズを設けてみ
てはどうでしょうか。
大勢の町民の方が参加する松前町ならではの広報づくりを
めざしてほしいものです。



持田文子さん
(西古泉)

「広報まさき」3000号発行おめでとう
ございます。毎月各家庭に届けられる広報
は、町行政の報告から、さまざまなお知ら
せまで、私たち町民には一番身近な情報源
として、大変役立つと思っています。
昨年から始まった介護保険や、国保の在
り方、また、市町村合併など、新しい課題
も山積して、難しい選択を迫られている時
でもありますね。
今後、町民が正しい選択をして、住み良
いまちづくりをしていただくためにも、「広
報まさき」をより一層読みやすく、親しみ
のあるものにしていただきたいと思います。

⑥業者との校正のやり取りを2回程度行います。

⑦広報編集委員会を月の中旬に開催

委員会終了後、委員会が出た質問や提案な
どを各課にまわって確認します。

⑧広報係により、さらに3〜4回程度の校正を
入れて、校了

⑨印刷を始める前に表紙の色合いを確認
表紙の人物の顔色などには、特に注意して
います。

〈再生紙100%になりました！〉

「広報まさき」は8月号より再生紙1
00%を使用しています。以前は、再生
紙含有率が70%の用紙を利用していま
した。また、昨年の6月号より「SO
Yインキ」で印刷をしています。「SO
Yインキ」とはASA（アメリカ大豆協
会）の認定基準を満たした大豆インキで
す。石油系溶剤の含有量を抑え、大気汚
染に配慮し、省資源に役立つインキです。

⑩印刷と仕上げで約3日

現在、「広報まさき」は1万800部印刷
しています。片面8ページを大きな紙に印刷し、
それを裁断して、折って重ねて、製本です。

⑪納品

⑫皆さんのお宅へ。